【市場展望】日本株は反発へ

■日本株は底入れの局面入り

今週（11月 24日～27日）の東京株式市場は、反発が予想される。AI半導体大手である米エヌビディアは米国時間23日、最高経営責任者（CEO）にジェンスン・ファン氏が復帰したと発表した。不祥事から12日に辞任を発表したが、米政府高官との意見聴取を経て安全保障上のリスクがないと判断したとの説明だ。23日の米株式市場でエヌビディア株は急騰し、前週末終値に比べて約3割高で終えるなど、他のテック株も過度な売られすぎた状態から反発した。

米国株の影響を受けやすい日本株は引き続きボラティリティーの高い状態が続くかもしれないが、20日時点で、200日移動平均線割を割り込む日経平均株価の株価水準および予想PER15倍を割り込む日経平均株価のバリュエーションは、いずれも割安圏にあり、戻りを試す展開が予想される。

■良好な国内企業の業績

株価は企業業績が基本である。2026年4～9月期（中間）決算は好調だった。東証プライム市場の3月期決算企業1,029社を集計したところ、純利益は前年同期比24.3%増となった。

製造業では人工知能（AI）の普及に伴うデータセンターの建設ラッシュが、半導体メーカーだけでなく化学や機械など幅広い周辺産業の収益を押し上げた。また、自動車などの輸送用機器も増益となった。非製造業は減益となったが、投資先企業の株価評価などの影響による業績変動の大きいソフトバンクグループ（9984）を除くと増益だ。円安や資源・エネルギー価格の上昇などから卸売業（総合商社など）が利益を伸ばし、銀行業は金利上昇による利ザヤの改善が業績を支えている。通期計画に対する 4～9月期純利益の進捗率は52.5%と良好に推移している。

2027年3月期通期の会社計画の純利益は前期比24.1%増と前回（8月18日時点）の16.5%増から上方修正された。日本企業の稼ぐ力の強さが際立つ結果となっており、4～9月期実績の進捗率を考慮すると、さらに業績の上振れも予想される。

（2026/11/24　大塚　俊一）

いちよし証券

裏面に、お客様にご確認いただきたい重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要開示事項】

●この資料は情報提供を目的として作成されたものです。投資勧誘を目的としたものではありません。そのため証券取引所や証券金融会社が発表する信用取引に関する規制措置等については記載しておりません。

●この資料は信頼しうるデータ等に基づいて作成されたものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、将来の株価等を示唆・保証するものでもありません。

●記載された内容・見解等はすべて作成時点でのものであり、予告なく変更されることがあります。

●この資料に関するお問い合わせは、弊社担当者へお願いいたします。

【ご投資に当たっての注意事項】

●有価証券の価格は売買の需給関係のみならず、政治・経済環境や為替水準の変化、発行者の信用状況の変化、大規模災害の発生による市場の混乱等により、変動します。そのため有価証券投資によって損失を被ることがあります。商品や銘柄の選択および投資の時期等の決定は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

●弊社は資料に記載された有価証券を保有または売買することや、資料に記載された企業に対し投資銀行業務を行うことがあります。

●弊社取扱商品の購入申し込みをされる際には契約締結前交付書面、目論見書等を必ずお受け取りください。商品ごとにリスクや手数料等費用は異なりますので、内容をよくご確認下さい。目論見書等は弊社担当者へご請求ください。

【手数料等の費用について】

●株式等（ＥＴＦ・ＥＴＮ・ＲＥＩＴ等を含む）のお取引にあたっては、約定代金に対して最大1.43%（最低手数料3,300 円（税込み））の委託手数料をいただきます。株式等を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

●投資信託のご購入にあたっては、お申込み金額に対して最大3.3%（税込み）の購入時手数料をいただきます（換金時に換金時手数料としていただく場合もあります）。また保有期間にわたって信託財産の純資産総額に対し最大2.585%（税込み・年率）の運用管理費用（信託報酬）およびその他の費用を間接的に負担いただきます。さらに換金時に最大1.0%の信託財産留保額を負担いただく場合があります。

●債券を募集または弊社との相対取引で購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

商号等／いちよし証券株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第 24 号　加入協会／日本証券業協会、一般社団法人　資産運用業協会
2026 年 11 月 24 日いちよし証券作成（IC241126X）